

**町民意見募集の意見内容**

●スキー場で収益をあげることは考えられない。スキー人口の減少、温暖化により降雪が期待できない、人工降雪機まで使用しても費用対効果が見込まれない、機械などのメンテナンスに莫大な費用が考えられる等々。元来嵐山はスキーの丘規模。ほかに、宿泊施設・温浴施設なども維持管理を考えると不要。今後は、夏を中心としてこれまで利活用の多かったキャンプ地として、テイクアウトのショップやフリーマーケットなど若い人を中心に幅広い活用の仕方を模索するべき。やる気のある若い人をどんどん育てていくべきと考えます。

●スキー場。これはなくては困る

●冬の営業をまっています

●閉鎖の前に散策路を散歩したら、小さな小川にニジマスが 2 匹泳いでいました。野鳥もたくさんいるし、エゾフクロウも時々現れるとか。宿舎のお風呂が沸かし湯なのは残念ですが、温泉を掘って、ネイチャーツアー、ウインタースポーツ、アウトドア、四季を通じて楽しめる施設になったらいいのと思います。温泉を掘るにはまた大赤字になると思うのですが、温泉は町の財産になると思います。温泉でいたら、町民ももっと通うと思います。

●夏はキャンプ、冬はスキー場として継続して欲しいです。もっと集客するには、スキーのリフトを改修して欲しいです。初心者コースのリフトは一人乗りなので、初めて乗るには危険すぎますし、二人乗りリフトは降りてすぐに急斜面なので初心者には危険です。よって子供にスキーを始めさせようと思った時に嵐山が選択肢から外れてしまいます。(怖くて二度と行きたくないと思われた子供も多いのでは…) 初心者コースも二人乗りだったらいいのにと、ずっと思っていました。

また、夏場は山を利用してジップラインを作るとか、道の駅化するなどしてもっと町外に PR できるような施設にして欲しいです。大人も子供も楽しめるようなアスレチックなんかもあると良いです。

宿泊施設にももっと魅力が欲しいところで、オシャレに改装したり、美味しい料理を提供するなど、十勝外からの観光にも対応できると良いですね。

スキーもできる、キャンプもできる、風呂もある、近くにゴルフ場がある、というように条件的にはかなり良いので、「遊びに行きやすいリゾート」を目指してどんどん進化して欲しいと思っています。

●子供が 2 シーズンスキースクールに通い、スキーがすごく上手になりました。また今シーズンも入学を考えていたのでとても残念です。弟も年長でスクールに入れようと考えていました。スクールのおかげで、滑れるようになったので上達もしたく本人も楽しみにしていたのでなるべく早く復活してほしいです。心から願っています！！

●嵐山を見限る勇気も必要。これ以上の無駄は是非やめるべき、Q & A にある「接客業に大事なものはホスピタリティ…」接客業を長年やって来られた方が言うのならともかく、横文字並べとけばそれなりの回答に見えるがそんな甘いものじゃない。民間企業なら代表は首を括るレベルの失敗。責任の所在もハッキリしないまま散々税金を突っ込んできたその判断は、必ず誰かが責任を取るべき。新嵐山改革は最初から失敗だったと認めて主導者の減給検討をして下さい。少なくとも怒りに溢れた町民の声は私の耳に複数届いています。町内の業者を追い出したやり方も酷いものでした。無能を自覚し、嵐山はもう諦めて下さい。音更に遅れを取るものの今からでも道の駅を作った方がまだ賢明。

●札幌市在住です。スキー場やキャンプ場を調べていて、どうも最近新嵐山が面白そうなことを始めている、と知ったのは今年の 5 月です。

そのうち遊びに行ってみようかなと思っていたら、議会が NO を突きつけるという BAD ニュースが入ってきました。せっかくいい意味で取り組みが知られ始めたところに、逆に悪い印象で新嵐山が知られてしま

ったのではないでしょうか。

ヨソモノですが、2020年というコロナ禍に突入した中で、いろいろ努力をされて、さあこれからというところを、コロナ禍の3年間で結果が出てないからNOだと議会に挫かれたようにしか見えません。

●スーパー銭湯 美味しいレストラン 青いラムネのソフトクリームがあると嬉しい。

●道の駅に登録してはどうか？オホーツクの遠軽町もスキー場を道の駅にしていろいろ活用していますので嵐山もぜひ無くすのではなく必ず復活して下さい。

●スキー場は規模を縮小してスキー、スノーボード以外の冬の遊びで十勝一番、できれば北海道一番になる。ロケーションはとてつもないので嵐山頂上付近でのキャンプ、車中泊スペースやカフェの展開。山全体を活用した遊び場の提供を。現在の宿泊施設は維持が大変なので必要無い、管理棟があれば良い。

●赤字の芽室スカイパークに投資したり融資するだけ無駄！

●自然がいつばいの嵐山の魅力を、存分に発揮できるようなものであって欲しいと思います。

グランピングができるような施設があれば嬉しいです。また、せっかくモンベルと提携しているなら、南富良野のような、ロッククライミングまたは、ボルタリングが出来るような施設があると嬉しいです。もちろん、お店も併用していれば最高です。十勝の自然を満喫して、アトラクションを楽しんでもらい、芽室町の美味しい食べ物を食べてもらうような施設などはどうでしょうか。年齢に関係なく、小さい子供から年配の方まで、幅広く楽しめる場所になれるといいと思います。お泊まりができる、農業体験もあるといいですね。

●事業を縮小しなけれならぬのは大前提として。夏季利用の提案です。リフトを利用してのMTB(マウンテンバイク)ダウンヒルコースの設営を提案します。現時点でリフト ゴンドラを利用できるのは函館七飯スノーパークですが、MTB 人気とダウンヒルの需要は年々増えると思います。放牧場としての機能をどうするのかや、3セクのは是非などあるかと思いますが、教育機能として新嵐山スキー場は町民や十勝住民に必要とされる施設です！早期の復活を望みます！

●自分は帯広市から利用させてもらっている者ですが、ここのスキー場は芽室町民だけではなく十勝管内から多くの利用者がいると思います。確かにある場所は芽室町であるので芽室町の財産だと思いますが、十勝広域の問題として考えるというのもあっていいのではないのでしょうか？さらに自衛隊もシーズン中は多く利用していますよね？防衛省もこの問題に関わってもよいのではないのでしょうか？大きなスキー場は近年リフト料金も高額になり気軽にウィンタースポーツを楽しむには難しくなってきました、家族連れや初心者、学生、高齢者等が利用するには厳しい現状だと思います。確かに近年はスキー・スノーボード人口が減っていると思います。雪も少なくなってきましたオープンも遅くなったり、クローズも早くなったりと稼働日数も減ってきて売り上げも厳しいとは思いますが。だからこそ芽室町だけで問題を抱えこまず近隣市町村、防衛省、関連機関に協力を仰いだ方がよろしいのではないのでしょうか？嵐山スキー場を利用して30年くらい経ちますが、気軽にウィンタースポーツを楽しめる素晴らしい場所ですので来シーズンの再開を是非お願いします。

●儲けがでないなら、再開する必要はない。税金を無駄遣いするな。

●Aコースだけでもいいから残して欲しい

●とにかく、スキー場の運営を優先してください。その次にキャンプ場、スパハウス(サウナ) 宿舎はやめて、芽室駅前に小さくて良いのでビジネスホテルを

●子供が初めてスキーやキャンプをした場所なので、これからも変わらず続けて欲しいなと思っています。

●スキー場、子どものスキー教室(大人でも)、ゲレンデ営業時のおやきを復活させて欲しいです！

- 芽室町は十勝では唯一、道の駅が無い町なので、ぜひ芽室町の道の駅にして欲しい。
- 町に新嵐山は必要です。一時的なことにとらわれず、未来を見据えた方向性で継続的に進めていただきたく思います。進む道は間違っていないと思います。
- 18才で北海道でるまでシーズン券買ってスキー場に毎日行っていました。夏も学校行事、上伏古の行事でことあるごとに行っていました。今でも帰省の時は嵐山に行っています。今回なくなると言うことで大変寂しいです。是非、存続させて下さい。
- 是非とも復活させて頂きたいです!ゴルフ場、放牧場、どさんこ牧とコラボして皆が集まる魅力的な施設にして下さい。議会も新しい計画にしっかりコミットして頂きたいです!
- 子供が小さい頃から夏は毎年オートキャンプ、冬はボブスレーなど、孫ができてからは今年もボブスレーに何度か行きました。ぜひ、存続していただければと熱く思います。野菜マルシェやカーキッチンなどイベントなど芽室の良い所を合わせればきっと他の地域の方からも人が集まると思います。
- 景色がキレイでしかも感じられる、こんな場所でイベントやキャンプやれたらすごく思い出になるし経験ができると思います。すごくもったいないです
- 例えば、星野リゾートさんとかにお願いできないものでしょうか?町民のみならず、大勢の人が楽しめる施設になって欲しいと思います。老朽化する前に、早く再生お願いいたします
- 冬のスキー場が毎年私の生きがいです、現在60歳、5年前からスノーボードを始めました。近く気軽に行ける!沢山滑り上達したい!本当に困っています。早い再開を期待しています
- 町内でも屈指の癒やしの場であった場所が利用できなくなったのは大変残念であり、これまで築いてきた物や場所、施設が無駄になり、利用されなくなれば朽ちて、廃墟となり、地域の汚点ともなりかねません。一町民の願いとして、縮小しても良いので、スキー場、キャンプ場、入浴施設、食事処など再開を願っています。
- 限られた人が楽しむキャンプ場ではなく、山の斜面一面に、きれいな花を咲かせるハーブを植えたら良いと思います。管理もシルバー人材センターなどの雇用もうむことが出来る可能性が考えられます。
- 今ある資源をなるべく活用して、何をやるにしても「今の嵐山には〇〇があるけど、普通の〇〇じゃなくて、それが面白くて…」みたいな、…の後に続くコンテンツを人に紹介する時、または聞かれた時に自分もワクワクしながら話してしまう嵐山になればいいなと思っています。
- グランピングよりもコテージを希望します。グランピングは料金が高く家族連れには利用しづらい!最近では熊が心配でテントよりもしっかりした建物の方が安心。いつも更別や音更のコテージを利用していますが、とても混んでいるので芽室にもあったら嬉しい。ジップラインの様な物も見晴らしが良いのでは?
- 南富良野のようなブランドショップは作らないで欲しい。まちの駅にもブランドコーナーいらなくないと思う。金曜日の夜に南富良野のモンベルへ行ったら、お客さん4人店員4人でした。店舗に入っても店員さんは誰も声をかけてこなかった。そんな施設のために税金使わないで欲しい。
- リゾート化を推進派は本当にこれから選ばれると思っているのか甚だ疑問。トマムは中国のものになりましたね。すでに選ばれてないから、合宿誘致など現実的な方向性もありだと思えます。温泉出ないのが残念です。
- 国道に面した場所(芽室IC降りてまっすぐの本通り沿い)は道の駅にして、野球場やゲートボール場やテニスコートなど運動に使える場を新嵐山スカイパークへ増やすのはどうでしょうか
- 新嵐山スカイパーク内の用水路の農薬濃度などきちんと調べているのでしょうか?公表してください。安心して遊びたいです。

●スキー場運営とその他業種で切り離せませんか？スタッフはどうすればいいかは分かりませんが、是非また子供達をスキー場で疲れさせたいです！

●関係ないのかもしれませんが、スキー教室に通っていて、親が時間潰すにあたり、敷地内にあるワイン工場内に見学機能が無いのが残念。

●今まで同様に広大なドッグランを利用できるようにして欲しいです。犬を飼っている方が多く、いつもたくさんの犬で賑わっていました。キャンプ場もできる施設で、以前と同様に囲まれたドッグランサイトのある施設にして欲しいです。十勝にはドッグランサイトのあるキャンプ場はなく、週末いつも予約が取れない時もあるくらいだったので、愛犬家には喜ばれると思います。

●コテージを希望します。芽室は美味しい食材が沢山あります。眺めの良いコテージで美味しい食材で手作りご飯、ドッグランもあるのでペット同伴のコテージ等どうでしょう

●帯広生まれの私ですが、沢山嵐山には思い出もあり、そこに行けば、嵐山は当たり前にあることが、普通なので、無くなるのは寂しい気持ちですが、少子化の影響や何かを楽しむ気持ちが現代人には少なくなったのかなと感じています。

外出せずに楽しむことが増えた今、車を走らせてという行動も難しくなっているのかなと思います。そこで、シーズンの初日に大きなイベントで、人を集め、1シーズンの特典などリピートしてくれる割引や特典など考えてみたらどうでしょうか。ただこれは、現状の施設を使って行く方法で普通の考え方かなとも思います。ここに、高齢者の憩いの場所だったり、コンパクトシティを作ってみたらどうですか？

自然を生かしたエネルギー循環を利用したり、昔のようにな形はもう難しいかもしれません。一点だけお願いします。展望施設は残して下さい。癒やしの場所として残して欲しいです。

●嵐山スカイパーク・メムロスキー場は町内・町外からスキー・スノーボードを楽しめる場所だと思います。特に帯広市内からも近く小中高のスキー授業や大学サークルなどの団体・スキースクールなどスキー・スノーボードスポーツの普及発展には欠かせない「十勝の中心」とも言って過言では無いスキー場だと思います。ナイターやリフトの運行は初心者が楽しめるように緩斜面への移動を考えて欲しいです。経費削減で第1リフトのみの運行を考えているのでしたら第2リフトのみの方がCコース(緩斜面)への移動ができることから考えて欲しいと願います。またサラリーマンスキーヤーや学生のためにもナイター営業もぜひ考えて欲しいと願います。降雪機・降雪施設なども有効活用して頂き天然雪だけではなく降雪が少なくても滑走ができるスキー場に戻って欲しい。スキー場へ宿泊所からそのまま移動できるスキー場も魅力の一つでしたが、価格設定など困難な点はあると思います。

ぜひ早いスキー場営業の実現に向けて進めて頂きたいと願います。

冬だけではなく夏は公園施設として芝生で子どもたちが楽しみ虫取りやバーベキューなどやれる集合場所になって欲しいと願います。

●失くすのは勿体ない、夏はオートキャンプ場、冬はスキー場のみとして活用してみたら？(スキーは一般客だけでなく、自衛隊の訓練の場となっています。)

●道の駅として、芽室の、農産物などを、売ることは、できないのでしょうか？キャンプ場、レストラン、宿泊施設、スキー場は、もちろん、継続で。

●親子、カップル、友達といろんな世代が楽しく過ごせる場になってほしい

●出来ることなら再開して欲しい。芽室町と言えば嵐山 ラウンドマークとして存続して欲しい 詳細は特にないが、宿泊施設等増えるともっといいのでは

●スキー場だけでも運営してほしい！スキー場に出来る山がある環境にいる子供たちの運動能力を伸ばしたい！

●スキーのレッスンを 子供達は毎年楽しみにしていました。授業でも無くなってしまった事に大変ショックを受けていました。スキーやスノボの復活、美味しいご飯屋さんの復活を願っております。ドッグランも、せっかく綺麗になったのに、使えないのは非常に残念だし もったいないと感じます。無料ではなく、お金を払っても良いので 復活した希望します。

●高級志向のサービスだけでなく、町民が使いやすい施設やサービスが増えれば良いと思います。温泉の町民割引とか、スキー場のリフトの町民割引など。嵐山展望台の看板、トイレ施設が酷すぎます。早い改善を希望します。以前展望台で、カフェを実施していましたが、季節限定でも良いので、継続した施設があると景色も含めて魅力的な観光スポットとして、おすすめの場所になるのかなと思います。もっと町民目線で、考えて欲しいと思います。町民がたくさん利用したくなる場所であれば、町外からも人が来ると思います。

●町外顧客の受け入れも大事ですが、まずは、町民が利用しやすいことが先決ではないか。温泉、食事の良いところはどこの地域でも集客されている。食事は、芽室ならではの食材で安心安全なカフェなど魅力あるメニューで。ディサービスのイベントや、町民農園など、通いたくなるような環境づくり。スキーは経費がかかるとは思いますが、将来的に復活して欲しい。どれもお金がかかることなので、厳しいですが、まずは、嵐山の環境、風景は維持出来ることを望みます。

●新嵐山スカイパークの復興を望みますが今まで通りにはいかないと思います。

スキー場は早く運営をしていただきたいと思いますが、宿泊施設は廃止したほうが良いと思います。問題は施設管理費と人件費にあります。また、魅力的な自然環境とは言い難いと思います。嵐山全体を整備するとなると何十億もかかりますスキーに限らず 1 年を通して行ってみたいところにしなければなりません。千年の森のような心癒される場所にしてください

●展望台からの景色素晴らしいので、夏期間限定でキッチンカーやソフトクリーム売り出したら良いと思う。ムムピーソフトの宣伝も兼ねて。ムムピーソフトの看板など道路沿いに案内あったら立ち寄ると思う。

●昔のように町民や近隣の子供から大人まで気軽に利用できる施設に戻ってほしい。(1 階の安価で利用できる食堂やレンタルスキーと売店、おやきや肉まん屋さん、夏は、いつでも利用できる焼肉バーベキュー等)とにかく、経営破綻直前のような高級路線や観光客目当ては必要無い。地元客が気軽に利用できる施設であって欲しい。

地元の子供やファミリーが遊びに来て一日中過ごせて楽しいをコンセプトに夏は、屋外大型遊具(例:網走のてんとらんの遊具)や冬は、スキーが出来なくても乳幼児から遊べる屋内遊戯施設(例:オホーツク管内の市町村にある木育施設等)を作るなどもこれからの新たな魅力の一つとしと提案します。

●スカイパークは町の宝です！この平原を満喫するには、

1. パラグライダーの基地として使用(インストラクターの募集が必要)
2. スカイパーク利用とかけ離れいますが、OCC とのパックツアーとの意見は、有りましたか本州は高いので本州のお客の誘致はどうでしょうか？

●来季スキー場の再開をお願いします！経費考えたらロτζジ無くても、滑るだけで良いので、お願いします！

●スキー場には毎年行って楽しんでいました。以前から思っていました、芽室町には温泉ホテルがありません、子供や孫達が来ても温泉に行って楽しむ事も出来ませんでした、是非共嵐山山荘を温泉ホテルに建て替えて頂きたいと思います。

●地元の子供達が集まる 思い出の場所になるといいなと思います。小学生時代に宿泊学習があります

がねんりんでは芽室の歴史を学び嵐山で登山、キャンプ体験、星空観測はいかがでしょう。また不登校の子のためのフリースクール拠点を置いて街からのスクールバスで通えるようにしては？

●犬を飼ったので、嵐山のドッグランに行きたかったのに、なくなって残念。ドッグランだけでも、続けてほしかった。

●利用する時にマイナンバーカードなどを提示してもらって町民であることを確認して優待価格にできないかと思います。ふるさと納税してもらった方にも優待があると良いと思います。レストランは美味しいと思えば遠くからでも来ていただけたらと思うので、定期的に町民の試食会などでメニューの見直しなど行ってみては。町内の四つ葉アパートさんとかインスタなどで盛り上げ方のわかっているお店から指導をもらってもいいのでは。レンタルがあって街が近いのはとても良い条件だったと思うのでスキースクールはぜひ復活させてほしいです。ドッグランはとても好評でしたが無料なのは良くなかったと思います。整備をしているのだしどこかでお金を支払わせて欲しい事業だと思いました。歩くスキーも復活してほしいです。

●自分はスキー、スノーボードはやりませんが初心者向けのコース的な役割で良いのではと思います。夏には、最近のソロキャンプなどの流行りに乗って東側のキャンプスペースなどの整備などして、芽室の遺産として活用していくとか良いのではと思います。数十年前に、近所の友達とキャンプしたのは今でも楽しい思い出になっています。予算や維持費など大変かもしれませんが、存続して欲しいと思います。

●新嵐山スカイパークは今の形になる前、ロッジだった頃から馴染みがあります。

以前は孔雀や金鶏銀鶏、モルモットにうさぎやニワトリ、小川があるのでアヒルもいました。馬もいて乗馬体験が出来ました。動物がいるので毎日遊びに行っていました。キャンプ場もクワガタ採りやキャンプに毎年行っていました。子供ながらとても楽しい場所でした。今の形になって動物はいなくなりキャンプ場は流され冬のスキー以外は展望台に登って景色を見て降りてきてご飯を食べることだけが楽しみになりました。この展望台、私は町外のバイクや SNS で知り合った方々に「芽室に来たらずび登って下さい！」とオススメしていますが、実はかなり道外の方にも知られていて、今年の夏に登った時「芽室はいい所ですね！ この展望台も北海道に来たら真っ先に来たかったです！」と、鹿児島から前日に北海道に入り翌日に立ち寄ってくれた旅行者の団体の方々に会いました。翌日に行く場所は決めていなかったにも関わらず、芽室の展望台だけは寄る場所に選んでくれていました。嬉しかったですね。その分、展望台までの道の凸凹や木の枝の垂れが申し訳なかったですが、、先日はどこかの高校生がマイクロバスで来ました。他にも絶え間なく登って来て来ています。展望台は自慢していい所です。

そしてレストラン&食堂のスカイパークとコロポックル。この嵐山の地はアイヌ民族が入ってくる前はコロポックルが住んでいました。最初は仲良く暮らしていましたが追われていなくなってしまいました…元々居たコロポックル、ロッジとしてあったスカイパーク、その事実を無くしたくない思いからコロポックル&スカイパークと名付けました。キャンプ場を楽しみにしている方々は町外にもいます。来年行く予定だったのに…あそこで食べるMEMPIソフトは美味しくてリピートしていたのに…ドッグラン利用していたのに…などなど

と、閉鎖の事実を知らせたらとっても残念がられました。現状はとても悲しいです。以前のように人の集まる場所に戻って欲しいです。

●嵐山頂上からの展望が好きです。私も子どももスキースクールに通って楽しみました。ソリ遊びできる場所だけでもこの冬から作って欲しいですね。スキー場は再開を願っています。山に向かって左側の川沿いにあるアスレチックや川遊びの場所を整備して子どもたちが自然に触れる機会も大切だと考えます。

また、芽室町は室内で大人も子どもも一緒に遊べる室内アスレチックのような施設がないので、(近年そういった室内アスレチックジムが他市町にあるのをテレビなどで見る機会ありました)そういったものにはお金がかかりますが、作って欲しいですね。

●小学生の娘が2人います。昨年度、嵐山のスキースクールを利用し、今年度もぜひと思っていたところの休業、大変残念に思っています。スキースクールは、システムやレッスンスケジュールがしっかりと確立している印象を受けました。長時間娘を預けること、決して少額では無いレッスン代をかけることに不安や不満を全く感じませんでした。先生方も親切で大変好感がもてました。子どもを待つ間に、食堂や二階のレストランを利用したのも、良い思い出です。芽室町に嵐山があって良かった、芽室町民で良かったとも思いました。新聞報道を見た時、スキースクールを楽しみにしていた子どもたちはもちろん、スキー学習を予定していた学校関係者も、どれだけ対応に追われ、残念に思っただろうと胸を痛めました。子どもに関わる部分だけでも、早期に営業を再開して欲しいと切に思っています。町民として、今後はもっと積極的に関わっていきたいです。

●毎週、展望台までウォーキングしています。もう10年以上になります。四季の変化を見てきました。春の桜並木、夏のキャンプ場、牛の牧場、秋の紅葉、冬のスキー場無くなってしまうのは淋しいです。どうか続けてほしいです

サウナのイベントのように、人が集まることができるようになると良いのかな？

●ナイターは減らさないでほしいです。今まで通りスキーしたいです！！

●今50代ですが、自分が子どもの頃からスキー場に通い、子どもが産まれた後も家族でスキーやキャンプに利用しお世話になりました。今後はこれからの時代にあった展開が必要だと思います。今後、子どもの行事だけでなく気軽に行けるスキー場の再開を望みます。意見や案について考えてみました。

①ナイターは金土日祝日と冬休み期間のみにして経費を削減してもよいのでは。

②雪が降らない時の人工降雪はしない。自然のまま、雪が降るのを待つ、12月中旬頃目処オープン。

③十勝管内在住者は少し優遇して家族割やグループ割になるシーズン券を作って、企業や職場に周知、子どもは1人分の料金で2子目以上は無料とする。リピートで、おなじみになることが大事。会社などの福利厚生に活用してもらう。

④子育て世代の家族やグループに町内で買い物や飲食をしてもらうため、地元民向け格安日帰りパックや、手ぶらでスキーパックをつくり、町内の飲食店とコラボする。

⑤旅行者を対象としたスノーモービルなどアクティビティは観光資源として、管内の温泉やサウナ、カフェなどと組み合わせて提供する周遊コースに入れる。

例えば芽室駅や帯広駅から送迎付きでスキーも借りられてランチもついている日帰り体験プランを事業者と企画するなど。現実には、色々課題があると思いますが、最近、魅力アップのために頑張っているのだから、反対ばかりでなく再生に向けてほしいと切に願います。

●更別村の公園みたいな遊具やエコロジーパークのふわふわドームみたいな遊具があると、週末に子供を連れて遊びに行き移動せずに昼食をとると、子育て世代には有難い場所になると思います。遠くのレジャー施設に行く余裕がない家庭が気軽に行けて未就学児、小学生がクタクタになるまで遊べるような場所になって欲しいです。

●ファットバイクには興味がなく、グランピングも高すぎて利用する気になれず…新嵐山へは、イベントがあるとき(ハンドメイドのマーケットなど)や冬に家族でソリ滑りやスキーに出かけることくらいしか行く機会がありませんでした。

ですが、何年も前に「天空カフェ」に参加させていただいた時に見た十勝の景色の美しさや芽室産の食材

を使った料理の美味しさは誇れるものだと思います。そしてあの広さがちょうどいいんですよね。子どもが走り回っても平気で、親もだいたい目の届く視界の良さもあり、適度な自然の多さ。何となくですが、新嵐山は『あって当たり前なもの（自分は利用しなくても、そこにあるもの）』という考えの町民が多かったのかな？と今回のことを受けて思いました。芽室には、いろんな分野で活躍されている方が年代問わずいらっしゃいます。その方々があの大自然の中で何か出来たら楽しそうかな？と思い、考えてみたのを挙げてみます。

- ・定期的なイベント（ハンドメイド、飲食、ダンスや楽器の演奏会など。せっかくあるホームページを忘れずに更新。今は SNS でしっかり周知しないとイメージ良くないので、そこもしっかりと）

- ・海外からの観光客を真剣に受け入れを考えているなら、きちんと対応できるスタッフさんやボランティアで通訳できる方を町で登録するなどして確保しておく（意外と外国語に堪能な方が多いと思います！）

- ・スポーツ大会等で芽室に来る方の宿泊先としてもカバーできるようにしておく

今までもしていたかもしれませんが、あると遠征先に選んでもらいやすい→町に人が集まりやすい→お金をおとしてくれる（たとえコンビニやスーパーだとしても）→活気づく

- ・子連れで一日中遊べる遊具を置いてほしい。

芽室公園は夏の水遊びのイメージです。親は子どもを楽しませるために、大きい遊具のある場所に車で遠くまで出かけます。そこで遊び、お腹が空いたらご飯を買い、暑ければ飲み物や冷たいアイスを買って、可能なら温泉でさっぱりして夜ご飯まで食べて帰宅したいです。

それを新嵐山で叶えることは出来ませんか？

- ・ずっとあるもの（新嵐山の施設）と、そこに時々あるもの（イベント等）のバランスが大事なのかな？と思います。

- ・子どもたちを巻き込んで落ち葉あつめ、そこから町内の農家さんや町で管理している畑でとれたジャガイモやサツマイモを焼いて食べてみる

わたし自身、第三セクターとはどういうものか勉強不足ではありますが、しっかり運営できている地域（場所）もたくさんあると思いますので、そういうところを参考にしつつ、どうかこれまでとは違った『新・新嵐山』になりますように！

- 近隣市町村の宿泊施設やアウトドア施設のような、魅力ある、そして町内外から人が集まり活性化できるような場所になってほしい。人が集まれば町が活性化して、盛り上がると思います。そのためなら町民として協力していきたいです。

- 正直な話、もう税金の無駄だと思います。場所も悪ければ入浴施設としても古すぎ。そこに税金投入する程ならば別な使い方あるし、復帰させたところで意味があるのか。

- 町民割をつけて、外部の人からは少しもらって、観光と町民を両立していく形にしていくといいと思います。こんないいところが町民割で使えるならと人口増加にもイメージアップできるし。今までの観光路線も全否定ではなく、町民にも愛されるスキー場にしてみんなで盛り上げていきましょう！

- スキー・スノーボードが夏でも滑れるブラシのようなものがグレンデにあると夏でも人が来ると思います。

- 町民から求められているのだから、これを機にリフト架け替えをしてより魅力的なスキー場にしたい。町民には負担を公平に求めて、税金だけでなくある程度の割合で直接費を求めるべきだと思います。スキー場は欲しい、負担はしたくないという理屈は通らないと思います。リフトの鉄塔 1 本 1 本にネーミングライツ権を。「～農場」とか面白いと思います。

- 民営化にするべき。「思い」「議論」等、不毛な時間を費やすより決断が先。
  - せっかくあるスキー場なくなるのは残念です。夏もとてもイイ場所です。もっと上手く運営する方法があったのでは…
  - 夏にはキャンプ、虫取りなどが出来て、冬にはスキー、ボードが出来る施設なので是非ともすぐに復活して欲しいです！
  - ドッグランをいつも使わせていただいております。大型犬用があったのでとても有り難かったです。又利用できるになると嬉しいです。年パスなど有料でも料金に依っては致し方ないと思っております。キャンプサイトは、電源サイトがあると利用希望します。
  - スキー場はやっていてほしかったです。キャンプ場とかワイン作りとかにお金を使いすぎたのではないかと思います。
  - スキー場の営業を続けてほしいです！
  - 毎年スキーをするのが楽しみにしていました、老後の楽しみがまた出来る事願っています。
  - 小学校の時から、学校の授業や家族でバーベキューと、よく利用していた場所だったので、閉鎖と聞きとても驚いています。財政と、町民からの意見等、立場それぞれの方の意見があり、大変かと存じますが、また、ふとした時に立ち寄って心を落ち着かせたり、冬場のレジャースポットとして、復活してくればとても嬉しい限りです！
  - スキー場再開を切望しています。モーグルスキー練習用コース増設、傾斜〇〇° 高難易度練習用コース増設、キッズ限定スキー場デビュー記念写真撮影、夜間限定（仮）嵐山イルミネーションコース毎週〇曜ド派手なライトアップ※遠くから見てもわかるレベル。
- 企業支援お試しカフェ、スナック、駐車場有料化（一定金額利用で無料）
- 子供の頃親に連れられソリで遊んだ記憶があったり、社会人になってスキーした事が思い出してとても寂しいです。何とか残していただけたらと思います。
  - 宿泊施設も中途半端なら取り壊して新たに建てては？ 国民宿舎である必要は無いと思う。温浴施設として（スパ、ジャグジー、サウナ）宿泊客や日帰り入浴客、町民、キャンプや車中泊の人のために整備しては。駐車場も大きい区画の車中泊スペースを作ったり、ゴミの処分料として料金を徴収したら良い。グランピングよりも普通のテントサイト、普通に休日を過ごせる肩肘張らないリゾート化しては。簡易宿泊施設プラス食堂、レストランって形で十分。今の生活スタイルで宴会場までは不要かと思う。
  - 夏はキャンプや楽しいイベント会場として、冬はスノーボードをしに行っていました。その場所が身近にあるのが当たり前でしたが、無くなると寂しいです。気軽に行ける場所だからこそ意味があります。復活するのを楽しみにしています！
  - 小さい子どもが遊べる場所にしてほしい
  - グリーンシーズンはそこそこ整備が充実しているキャンプ場、ホワイトシーズンはソリにスキーを利用させて頂き、重宝していました。復活を期待しています。ただ、犬限定サイト以外でも犬キャンプは辞めて頂きたい。また、ドッグランに投資が過度だと思います。宿舍の施設は廃止してでも、キャンプ場及びスキー場の存続をお願いします。
  - 絶対的に残すべきですね。温泉施設などありましたらありがたいです。
  - 昔は、遊び場で、家族で遊んだ事又動物に、餌やりをした事が、子供達と行った思い出があります。復活して欲しいと思います。
  - 町民の憩いの場所であり続けてほしいです。管理をしていくのは大変なことだと思いますが、子供たちが森の中で遊べたりスキーができたりする貴重な場所だと思います。宿泊施設はなくても、アメリカのセ

ントラルパークのようなイメージです。1番心配なのは、無意味な開発や外国の投資家などに売却されることです。新嵐山のような里山は十勝でも珍しいと思います。いろいろな人々が思い思いに集える場所であり続けてほしいです。

●地元町民がのんびり散歩、散策できる。冬はそり遊びやスキーを楽しめる。地元寄せた身の丈に合った細く永く続く場所であってほしい

●思いとかより、再開までの期間現状維持は出来るのか心配です。

●こんばんは、嵐山の近くにいるので昔お昼は時々利用させていただきました。最近高級過ぎて近寄り難くなっていました。以前から思っていたのですがナイタイ高原のような展望台施設で気軽に食事や展望ができれば良いと思います。道外から来た人をよく展望台に連れて行ったのを思い出します。いろんな場面で展望台からの風景が利用されているように思います。展望台への道路整備をして上手く利用するとういと思います。

●スキー場は絶対に存続すべき。温泉を掘って入浴施設を作ったら良いと。

●町が直接運営してください。

●予算は別として芽室の財産として絶対なくせれないものです！キャンプあり！スキーあり！パークあり！最高の展望台あり！まずはキャンプ場やの整理！国民宿舎に温泉施設を作る！露天風呂の改修も！嵐山ジンギスカンにして夏も冬も最高の場所にしましょう！

●夏はドッグランとキャンプ場を。キャンプ客用に大浴場は整備。ホテル部分は施設も古く廃止しては。レストランは難しいと思うが、フードコートの数種類あるのが理想。複合的に道の駅にするなら農産物加工場があると集客が見込まれると思う。

●土日祝日の10時～16時まで良いので、冬のスキー場を続けて欲しいです。年少さんの頃から毎年そり遊びに来ています。親子で楽しめるスポットを大事にして欲しいです。小学生になったらスキーを教えるから一緒に滑ってみようねと娘と話していた矢先に閉業…。営業日など工夫して何とか営業して欲しいと切に願います。私は移住者ですが、嵐山は古くから地元の方々に愛されてきた場所と聞いています。これからも愛され続ける場所になれますよう。

●帯広からの若い人がバス満員状態で来ていました。自衛隊の方も沢山来ていました。人が集まる魅力あるスキー場を継続していくのは継続されている町に指導を受けた方が良いと思います。決して大きくない忠類白銀幕別明野などロッジなど立派じゃなくても人はきています。ぜひ指導を受けて下さい。何も無い芽室になってしまいます。

●芽室町は元来、町内外から観光や行楽等を目的に人が集まる場所ではないと感じています。ましてや嵐山は町中心部から離れているため、「芽室町の」ではない特徴ある施設でなければ再建は難しいと思います。具体的な内容はありますが、行動力のある子供や学生、若い人を中心に、リピーターが増える内容でなければ継続できないと思います。抽象的ですが、体験型のゲーム施設やスポーツ施設など、テレビなどで見る事もあります。その一環でスキー場があるのもいいのではないのでしょうか。また、今回失敗に終わった3セクではなく、芽室町直営の方が町としての緊張感が増していい結果に繋がるのではないのでしょうか。更に、将来的な事業の見直しをいつでも出来る柔軟な体制、姿勢が必要であると思います。

●芽室町のシンボルとも言える嵐山を無くしてはいけないと思います。以前、中学生が嵐山活性化のためにプレゼンを行いました。現実的に考えると難しいものもあるとは思いますが、少しアイデアを広げるきっかけになると思います。

●①スロウ村のイベントはとても素敵です。

今後もあのようなイベントを定期的にしてほしい。

②お金のかかる話ですが、温泉の源泉があるなら掘って温泉を出してほしい。

そうしたら、温泉に入る目的で町内外から、そして宿泊客も増えると思う。

キャンプ場も再開するなら、温泉のあるキャンプ場はかなり魅力的。

③スカイパーク内の小さな川にニジマスが上がっているのが、閉鎖少し前に見ました。

フクロウもいるようだし、そんな素敵な環境を守りながらネイチャー体験やイベントをして欲しい。

④芽室を中心とした十勝の食材をふんだんに使ったランチbuffet（土日とかだけでも）して欲しい。

⑤キャンプ場の継続。

ただ、スキーのナイター営業している際、邦楽ががんがん聞こえてくるキャンプ場には泊まりたくないと思った。スキー場も再開して、キャンプ場も再開するなら、ナイターの音楽はなしにした方がいい。

⑥花火大会

⑦音楽イベント。野外コンサート。

●最近ではキャンプ場だったり、おしゃれな雰囲気もあり良かったと思います！ 宿舎もあり、温泉もあり、展望台やキャンプにスキー場。なぜ休業になってしまったのか不思議です。JAにも協力してもらって、愛菜屋を移動できれば、道の駅みたいに集客もあるのではないかと思います。

●嵐山でネックになっているのは、宿泊施設と浴場（意外と水道代がかかると聞いたことがある。温泉だったらいいのに、温泉も出ないと聞いたことがあります。）だと思います。

宿泊施設と浴場をやめて、夏のキャンプ（余裕ができてくればオートキャンプサイトとか作ったり。お客さんが来てくれそうなら、冬キャンプもしてもいいのかも。最近やっている人いるみたい）及びバーベキュースペース。冬のスキー場と暖を取れる場所だけでいいと思います。（浴場は廃止か、利用は夏キャンプのできる土日及び夏休みシーズンだけとか）

バーベキューについても自前で肉を用意せずに、お客さんから当日の10時までに連絡いただければ、小久保さんに配達してもらおうとかでもいいんじゃないですかね？自分で抱え込むと食品ロスが生まれてしまうので、芽室町の商店街も含め全体でカバーすればいいのではないのでしょうか。

日本の絶景1000という本だったかに、嵐山が採用されていたので、町の観光資源としては大切だと思います。スキー少年団も嵐山を使っているのであつたほうが良いと思います。また、エゾリスのほかに以前、オコジョだかを見たことがあつた。ヤチブキ（エゾノリュウキンカ？）があつたり、大変超貴重な場所です。ただ、一般の宿泊は少ないと思うので、本当は町民としては施設があつたら嬉しいけど、経費のことを考えると、やはり、あの建物自体が重くのしかかると思います。宿泊スペースのないぐらいの建物で、夏はキャンプの受付、冬は暖を取って売店と軽食程度のサービスがあれば十分だと考えます。

嵐山の展望台ではお盆頃のペルセウス流星群が肉眼で流れ星がガンガン見ることができます。そういうの売りにしたらキャンプ場にもっと来ると思います。まちの駅にあるモンベルコラボショップも、夏キャンプとスキーシーズンだけでも嵐山にあつたらいいのに。

星空や野生動物の写真を撮ったり、嵐山ハイキングをしたり楽しませてもらっています。以前は、2階のレストランで和食の御膳を頂いたり、冬にお焼きを買って帰ったりしていました。町民にとっては福利厚生のような場所じゃないかなと思います。

●嵐山が閉鎖した！このことは、町民ならみんな気になり、知っていると思う。では、展望台からの四季折々の景色、降ってきそうな星空。町民のどのくらいが、この景色を知っているだろうか？意外と知らない人が多いのかも？！と。嵐山が閉鎖しているのは本当に残念。身の丈に合った経営で再開するのは難しいのだろうか？まずは、町民が嵐山の良さを再確認…それが波及して良い輪ができる。お金を沢山かけなくても、できること、できることから始めてみることは、難しいのだろうか。

●ドッグランをよく利用していたので、また無料開放してほしいです。

●道内には少ない、冬場でも遊べるような超大型アスレチック施設等の、子供や家族をメインにした集客が見込めて話題性のある施設にしてほしい

●外国人向けのタトゥーがあっても使用出来る入浴施設や、家族向けの冬期使用可能なアスレチック施設を考えてほしい、まずは道内道外問わず集客、集金可能で持続出来る施設をお願いします

●中札内のスパそらのように、国民宿舎を全面改修して温泉施設を資金はクラウドファンディングを活用し、温泉は白樺温泉や、やよひの湯の泉質で帯広とは違う泉質でアピール。せっかく、とうもろこしの産地なのだから、レストランも、地元のレストランヒロさんの力を借りる等して、街の駅も新嵐山に持ってくる等、やりようはたくさんありますので立て直してください。力になれるならありますので。

●新嵐山の展望台からの景色は芽室町を一望でき、何時間でも眺めていられるとても大切な場所です。車で登る展望台だけでなく、スキーやスノーボードを第一リフトで登った景色、また第二リフトからCコースに渡り、そこから見下ろす景色もまた格別です。小学校の授業でスケートが主でしたが、お弁当をもって出かけるスキー学習は親子で出かけられ、冬期間は両親と一緒にいられる時間も長く、うれしかったことも忘れられません。こんな思い出は私だけではないと思います。芽室町から離れて住む方々もお盆やお正月などの長期休みで帰省された時、こんな思い出話になるのではないかと。

今回に至るまでの経過で様々な意見が飛び交っていますが、こうまでになる前に何故、新嵐山の継続に課題山積、緊急事態であると内部で声が上がらなかったのか残念です。(上がっていたのかも知れませんが、成果に繋がらなければなかったも同じです)民間企業であればその途中、役員総入れ替え、芽室町全体の問題に上がってくるはずです。「どこか対岸の火事」「どうにかなるだろう」「誰かが声を上げてくれる」があったのではないのでしょうか。「赤字なら閉めればいい」が見え隠れさえしていたのではと推測せざるを得ません。町職員の中にも、自分の人生を掛けて再建を望み、カラダとアタマをフルに動かしていた方もいらっしゃると思われまます。地域の方々も一部では人生掛けて再建を望んでいます。ぜひ、町民全体の〇〇%が賛成(反対)だから、でことを進めて欲しくないです。これからの芽室町を担う子どもたちに、いま何を残せるのかです。マイナスからの成長は難しくてもやり甲斐しかありません。プラスに転じたとしても、小さな改革なくして継続などありません。これから再び、とかちの大切な観光スポットのひとつになり得るよう願っています。

●スカイパークの魅力はなんと言ってもスキー場です。町内在住者は勿論のこと、帯広市や管内在住者が利用しやすい立地は、メムロスキー場の強みです。そのことは、これまで多くの人を訪れたり、スキー授業で管内の小中高生が利用して来たことでも証明されています。メムロスキー場は芽室のではなく、十勝のスキー場だと言う事をあらためて認識しなければと思います。また、スキー場はレジャーとしてだけでなく、教育の場として、生涯スポーツとして心身ともに健康に生きる施策である事も認識してほしいです。出来るだけ早い再開を望んでおります。

●売却し、別の人に経営してもらおう。

●自分は帯広市から利用させてもらっている者ですが、ここのスキー場は芽室町民だけではなく十勝管内から多くの利用者がいると思います。確かにある場所は芽室町であるので芽室町の財産だと思いたすが、十勝広域の問題として考えるというのもあっていいのではないのでしょうか？さらに自衛隊もシーズン中は多く利用していますよね？防衛省もこの問題に関わってもよいのではないのでしょうか？大きなスキー場は近年リフト料金も高額になり気軽にウィンタースポーツを楽しむには難しくなっており、家族連れや初心者、学生、高齢者等が利用するには厳しい現状だと思いたす。確かに近年はスキー、スノーボード人口が減っていると思います。雪も少なくなってきたいてオープンも遅くなったり、クローズも

早くなったりと稼働日数も減ってきて売り上げも厳しいとは思いますが。だからこそ芽室町だけで問題を抱えこまず近隣市町村、防衛省、関連機関に協力を仰いだ方がよろしいのではないのでしょうか？嵐山スキー場を利用して30年くらい経ちますが、気軽にウィンタースポーツを楽しめる素晴らしい場所ですので来シーズンの再開を是非お願いします。

●根本的に全体の価格設定が高過ぎるのが利用者離れの原因だと思います。人伝いに聞いた話ですが嵐山スカイパークは、芽室町民は眼中に無く観光客目当てだから町民割りとかも存在しなくなったと聞きました。やはり地元の町民が食堂やキャンプ場その他をリーズナブルで、高コスパで利用出来れば自ずと人が集まるのでは無いのでしょうか？誰と話をしても上記の話が持ち上がります。

●基本的に、また町が運営に関わることは、大反対です。一部の人の集まりで盛り上がっているだけとか思えないですね！また町がゴリ押ししているようです。町は、嵐山の施設、土地などは、民間大手企業に賃貸し、運営はプロにまかせて集客、売上増に繋げることが第一ではないのでしょうか？他町村とか世間からは、芽室町は笑われているので、町が運営に今後携わるようなことでは、同じことの繰り返しで、町税の無駄遣いは許し難い思いで、経営のド素人では無理でしょう。

●私は昨年芽室町に移住して来たものです。今回の議会の否決については年度途中である中で無責任な対応であると感じています。従業員への賃金未払いや町内業者にも債権者となった方が多くいるのではないのでしょうか。しかも提言書なるもので芽室スカイパークは必要である言っておきながらこの対応には納得がいきません。一度止めてしまうと再開には今回以上に多大な費用が生じるのではないのでしょうか本当に残念です。今後のスカイパークについては是非再開して欲しいと思っていますが国民宿舎に温泉を掘削することは無理なのではないのでしょうか？掘削に多少経費はかかりますが一年通して町内に温泉がない事もありますし多くの町民が訪れると思いますし熱交換で暖房費も抑えられると思います

●新嵐山は十勝を代表する景勝地です！何とか展望台からの景色を皆さんに観て欲しいです！日本の人々世界の人々にこんな所があるとまさにシーニックバイウェイでないのでしょうか！

●アウトドアが気軽に出来る・楽しめる施設であって欲しい。設備のキャパシティが変えられないのであれば、無理に背伸びして色々な地域の人を呼ぼうと頑張らず、地元・管内の手厚いリピーターを作る様にして欲しい。夏にキャンプに行った際、浄水？下水の問題で入浴時間がかなり制限された。これでは不満が残る。

●子供がスキー少年団(町外)に所属しており、ナイター練習でスキー場を毎週利用していました。数年前からナイター営業の日数が減ってしまったことをとても残念に思っていたところに今季の休業でショックを受けています。子供達の練習の場が失われてしまいました。練習期間の短いウィンタースポーツで平日の夜に練習のできる嵐山は貴重な場所でした。社会人の仕事後にスキーができる貴重な場所でもあります。ぜひ来季には営業を再開していただき、ナイター営業も日数を増やしていただきたいです。

●小川を整備して、魚(ニジマスや山女)等を放流して溪流釣りの施設を整備して釣堀を経営して、キャンプ施設を設営すると、今の施設をそのまま、食事や宿泊施設の提供で収益も確保できると思います、そしてさらに周辺の整備をして、施設を改修してキャンプ場とバーベキュー等の施設を設営するという案はどうでしょう。

●帯広の隣にこんな使い勝手の良いスキー場があるとは、経産局の実証実験でお邪魔するまで知りませんでした。冬の十勝はスケート、と帯広の皆さんは仰っています。サホロとトマムは勿論知っていましたが、一部芽室の農家さんがSNSで称賛していた以外、新嵐山の話は耳にしません。他方、良く行く札幌藻岩山スキー場と比べて一階の食堂があまりに豪華で逆に違和感がありました。大浴場はせっかくあるのに活気がありませんでした。外からの交流人口を取り込む施策自体は間違っていないと思いますが、地元芽室は

勿論、大栗田帯広の子供たちや帯広に来る観光客への施策はいかがでしたでしょうか。十勝のサウナは地元十勝の人に愛され、結果全国から人がやってきました。まずは「十勝」から人を呼ぶ。具体的には十勝の子供たちをがっちり取り込む。部外者ですが、議会で否決、突然の閉鎖はあまりにもお粗末でショックでした。運営側の高額な報酬や売上などに議員の方々が不信を抱いていた課題になぜ向き合わなかったのか。色々頑張っている芽室町だけに、衝撃でした。サウナ実証実験に参加して、十勝を一望できる立地の良さを再確認しました。次にどこかに委託する場合は、運営側に丸投げせず、魅力発信課などが主体的に関わらないと同じことになるのではないのでしょうか。具体的にはオホーツク湧別町チューリップの湯が参考になると思います。運営は委託事業会社ですが、サウナリニューアルには町の幹部や若い職員が開業前に連日通い、事業社と一緒に頑張ったと聞いています。

●子供のころから嵐山でスキーを楽しんできた60代の者です。突然に閉鎖の新聞記事を見て驚いています。なぜこのような事態になってしまったのか？町としてなぜ閉鎖しなければならなかったのか疑問に思っているのは私だけではないでしょう。町外の者なのでそれ以上は、、、

私は特にスキー場を利用してきました。ナイターでのスクールや子供の練習などで週に2、3回嵐山に通ってました。残念なのは子供達の練習の場がなくなる事です。またスキー検定や大会などの参加もできなくなる事です。なんとか帯広、十勝のスキー愛好家の為にスキー場を再開してほしいと思っています。日高山脈の国立公園、伏美岳、剣山、芽室岳、十勝幌尻岳など日高では数少ない夏道ルートのある山に囲まれた場所でもあります。日高登山の為に施設利用も可能かと思えます。来シーズン必ずスキー場オープンしてください。よろしくお願いします。

●休業直前に行ったイベントがとても楽しかったです。冬も子供とソリ滑りなどで利用したいと思うので通年が難しいのであれば期間限定などで運営してほしいと思っています。

●スキー場再開を願っています。ナイター営業も望んでいます。

●私は土幌スキー少年団の中学3年生です。先シーズンは新嵐山スカイパークで滑らせていただき、たくさん練習しました。そのおかげで全道、全日本共に良い結果が出たり、スキー検定のクラウンプライズテストに合格できたりと、とても嬉しかったです。それだけでなく、スキー終わりに新嵐山スカイパークの温泉に土幌スキー少年団の仲間に入浴していたり、楽しい思い出が沢山あります。

土幌スキー少年団には、大会に出て良い成果を出せる選手が沢山います。しかし、嵐山スキー場が無くなってしまうと、練習しやすいスキー場が少なくなってしまう、練習時間も限られてしまいます。そのせいで大会や検定で出せる成果も出なくなってしまうと思います。なので、来年の新嵐山スカイパークの営業再開を願っています。

●小学生で初めてスキーをした時から高校生の今になるまで、ずっと滑ってきたスキー場が無くなってしまったのは悲しいです。帯広から最もアクセスが良く、一番行っていたスキー場だったので、ぜひ十勝のスキーヤーのために再開していただきたいです。自分もできる限り応援するつもりです。

●私は小さい頃からこのスキー場でスキーを練習してきました。ナイターをやっているスキー場が近くには少ないので無くなったことはとても悲しいです。いい結果を残すためにも練習は必要なのでぜひ営業再開して頂けたら幸いです。

●またスキー場をオープンしてほしいです!!

●出ず場が違うのですが、目を通していただきたいです。嵐山自分ごと化会議に参加した者です。昨日、12月のワークショップの案内が郵送されて、疑問を感じたので意見させて下さい。

①自分ごと化会議の意味はあったのでしょうか。先日、スカイパークの廃止が決まった時、何度も協議してきたことは何だったのだろうと残念に思いました。報告書を議会に提出したとありましたが、議会でも

の程度、報告書が精査され、生かされてきたのか、感じられませんでした。

②それからの今度のワークショップ開催です。自分ごと化会議の参加者に次の会議に参加したいと思えないのは、私だけではないと思います。以前の会議との目的も同じです。政策推進課の中で会議の必要性や見通しはしっかり話し合われているのでしょうか。何十時間も費やしてきた参加者を蔑ろにしているように感じられます。

芽室町のため、嵐山のため、真剣に町の要望に応えている人がいます。一人ひとりの町民を大切にしたい、町の取り組みや発信をよろしくお願いします。

●スキー場はどうしても続けて欲しいです。

●①日高山脈襟裳国定公園にもなろうかとしているところですし、その活動拠点のひとつともなるのではないかと思います。

②また、上川町にみるようなインフィニティ国際学院（以下「インフィニティ国際学院」、(株)インフィニティグローバルスクール運営）との協定・活動なども参考になるかもしれませんよね。学校法人との連携は考えられるかもしれません。

③野生動物との共存や活用などを考える教育・

指導活動拠点としても可能性はあるかもしれません。

④観光に何か付加価値をつけたものが良いのではないかと思います。北海道という地の自然も観光資源として注目されているところですから、せっかくの施設ですから大事にしたいです。

●孫が冬休みに来てスキー場に行くのを楽しみにしている。存続してください。

●こんなに近くに大自然を感じることができる施設こそ大切にされるべきです。運営側の意識改革は大切です。そのうえで、ぜひ存続をお願いします！スキー、ずっと楽しみにしていました。

●先日、某団体がスキー場再開の陳情との記事がありましたが、それほどの危機意識があるのであれば、CFでもされて自主運営を考えては！今、全国の自治体に、どれだけのお金があると思っているのでしょうか。過去の夢を追うことを考えていては、結果は繰り返されますよ。

●是非スキー場の存続を望みます。地元の方々を大切にしたい経営を切に願います。芽室町民の知人がスキーを始めて、「楽しいから今シーズンから嵐山に通う！」って言っていた矢先でした。私自身、キャンプ場もスキー場も利用していましたが、リゾートというのではなく、ローカルの強みというか、本来ある嵐山の良さを生かした形での来シーズンの営業を願っています。

●芽室町は町内に人を泊めたくない判断しました。芽室に用事あったとしても泊まる場所がないので、帯広に泊まります。嵐山が綺麗な泊まる場所へ改装なれば良いと思っていましたが・・

●お庭を散歩出来るような開放感のある高齢者介護施設プラス一般の宿泊施設、レストラン等々～外ではドッグラン付きのキャンプ場等～冬は小さなスキー場、のびのびそり遊びも出来るような場もあると良いなと思います。

●①幼児～中学生位までが遊べる巨大遊具の設置

秩父別町、忠類、グリーンパーク横のような大胆なもの

②車も横付け出来るオートキャンプ場の設置（ファミリーキャンプで駐車場が遠いのは、小さい子がいる家庭ではとても大変で利用が厳しい為）

③室内には温泉とカフェ、お菓子、ジュースのお店、

大きな室内遊具を設置

④嵐山の自然を大切にしたいイベント（夏休みと冬休みの体験学習、山登りや工作作り等）

芽室町には芽室公園がありますが、小さい子がのびのびと遊べる室内遊具がありません。

家族が集いやすく、皆に優しい施設が欲しいです。シーズン通しての利用が出来るような憩いの場があれば町民だけでなく、様々な地域からもお客様がいらしてくれるのではないのでしょうか？その為には、キャンプ場、温泉、遊具は親子連れになくてはならないものかなと思います。大胆な改革の為にも、多くの他の地域への視察もお願いしたいです。

●嵐山のことですが私は半世紀もの間、青春から現在のシニアになるまで、冬はスキー楽しんでいました。これを中心にライフスタイルを合わせると言う形で生きてきました。高齢になりシニアライフはスキー場だ。と張り切っていました。楽しみたいと思っていました。よそから来町の人には展望台からの芽室の畑風景や遠くに見える大雪山等自慢でした。今後かわって欲しいことはありません。スキー場と見事な景色の他には何もありません。今はとても悲しいです。四年前のスキー場が戻ったらいいなと思っています！

## ホットボイスの意見内容

●昨シーズン、始めてナイトスクールに参加させて頂き、素晴らしい、先生方にお会いし、大変わかりやすく、何より優しく指導して頂いて嬉しかったです！今シーズンも大変楽しみにしていました！このスクールを通して仲良くなった友達もいます！なんとか存続宜しくお願い致します。

●毎年、ナイターのスキースクールに参加しており、今年も大変楽しみにしておりました。十勝管内のスキーヤーのためにも、ぜひ今年もナイターを実施していただきたいです！よろしく願いいたします！

●①メムロスキー場が今シーズンオープンしないと耳にしました。町議会議員の反対意見として「町民ファーストの経営」とありましたが、我々町民が望む事は経営の継続だと思っています。スキーやスノーボードを楽しみにしていた子ども達が気の毒ではないですか。我が町にはスキー場がある。身近にウィンタースポーツができる。その喜びを奪わないで欲しいです。

●スカイパークのスキー場、存続を強く希望します。冬のスポーツの多様性は大人にとっても子どもたちにとっても必要です。素晴らしい資源を最大限に活用してください。ドッグランよりもグランピングよりもスキー、ソリ、スノボを楽しむ人は圧倒的に多いのです。そこに目を向けてください。大好きなメムロスキースクールの先生にまたスキーを教えていただきたいです。お願いいたします。

●芽室嵐山スキー場の存続を強く希望します。財政的に厳しいことは新聞を読んで知りました。しかし、これまでたくさん子どもたちや大人たちが嵐山スキー場で楽しみました。私自身も昨年スキースクールの先生方にたくさんスキーのことを教えていただき、素晴らしい経験をさせていただきました。スキー場のスタッフの方々にもたくさんお世話になりました。シーズン終了ぎりぎりまでスキー場を整備してください、春スキーも楽しむことができました。そういったスキー、スノボを愛する全ての人々にとって嵐山スキー場の閉鎖はとても悲しいお知らせです。グランピングもドッグランも食堂もありません。スキー場があれば十分です。最も必要なものだけを残して、今後も嵐山スキー場を運営していただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

●運営停止となると極めて残念です。

というのも昨年、仕事の関係で帯広に引っ越しました。休日になると十勝の色々な屋外遊びのできる施設を利用しましたが、スカイパークの雰囲気をととても気に入っていて、それをきっかけに、マイホーム購入の候補地として芽室町を意識するようになり、今年になって芽室町内で念願のマイホームを購入させていただきました。もちろんスカイパークがあるから！という理由だけで決断に至ったわけではないですが、自分が芽室町に住む理由の一つがスカイパークの存在、、だったわけです。子どもが成長していく中で、スカイパークが家族の思い出の柱の一つになると考えていたものですから...、この思いをどこかに発信しなくてはと考えた次第です。経営の厳しさもあるのだろうとは思いますが、これだけ魅力的な施設はなかなかないですよ。先日東京から来た友人も展望台からの眺めに感動して帰っていきました。友人が来た際に町内に誇れる場所があることはとても大切なことだと私は思います。もし、なくなると、町外の同様な施設（エコパ、グリーンパーク、ナウマン公園等）に人の流れがいつてしまう。どうにか存続できる道はないのでしょうか？

●町民の冬期間の運動、娯楽の場としてスキー場は続けてほしい。キャンプ場、宿泊施設等は赤字になるようなら、やめてはいかがですか？バギーなど程ど乗っている人いませんよね。2階のレストランはお客さんも入っていませんし、メニューも焼きそば、たこ焼、フランクフルト、ポテト等で十分です。コースメニュー食べたいと思わないから、人がこないし値段が休日のランチで、家族で食べるには高すぎます。近くにスキー場があるのですから中学生の体育の授業をスキーにしたら練習もかねて、スキー場利用する人も増えると思います。大人になってからも気がるに行ってちょっと滑れるスキー場として利用して

くれるかもしれませんし。

●勝毎を読んで嵐山が赤字になるのは当然だと思いました。以前から見てものすごく利用しずらくなりました。地域の人達・町民も嵐山も行かなくなりました。芽室町の税金が使われているなら、もっと以前のように、町民目線で利用しやすい嵐山にしてほしいです。第三セクターではなく、芽室町が管理し、町民の意見が行き届く様な嵐山にしてほしいです。地元の人達と話し合い、地元の業者等をまき込んで一帯となって取り組んでほしいです。

●嵐山の事業停止、とても残念です。予算 5000 万までみなくても、予算をかなり下げて、スキー場だけでも残すのは無理なのでしょうか？スキー場だけでも残してほしいです！宿泊やキャンプなど黒字にするのは難しそうなのは想像がつかます。赤字ならこれ以上やらなくていいと思います。結果論ですが、バギーなども、あんなに必要ななかったと思います。スキーレンタルもあんなに必要なでしたか？レストランもシェフまで雇わなくても、人権費などのかからない肉まんとかがあるだけでスキー客には充分だと思います。むしろ、レストランよりもそういう方が値段もお手頃ですし、車でも食べられます。それすらも難しければ、食べ物はなくとも、とにかくスキー場だけはあけてほしいです！子供はスキースクール通うのを楽しみにしていました！受付やレストラン、何人も人がいて、人件費だけでけっこうな金額になっているだろうなと思っていました。そんなに人を雇わなくてはいけなかったのですか？暇そうにしている人を何人も見かけました。無駄な出費がとても多く残念です。土日だけでもやるとか、シーズン券を値上げまたは、廃止するとか、人工雪をやめて雪がある時だけとかにするとか、何か解決策はないのでしょうか？もう少し、町民の為に話し合いを続けてほしいです！残す方法が何かないのか、残してほしいと思っている町民みんなでお考えたいです！よろしくをお願いします！

●幼少期から芽室町に住んでいて嵐山にはスキー教室やそりすべりなどたくさんの思い出があります。帯広市内の友人達も嵐山にスノーボードを練習に来るなど需要はありました。しかし、昔の嵐山の時と今の業績を比べるのは酷ではありませんか？コロナ禍により利用客が減っていたのもありますが、そもそも多く利用していた子供の数が減っています。スキーの競技人口も、積雪量も。全ての物価、光熱費、燃料費も上がっています。業績だけで判断するのは時期尚早もいいところです。芽室町が管内一長寿の街のようですが、高齢者に手厚くして、若年層、子供達を蔑ろにしていると感じます。スキー場だけではやっていけない為、ドッグランやキャンプ場を作ったのだなと感じていました。ちょっと初期投資しすぎたのかもしれませんが、リゾート化を狙うなら必要経費です。新しい嵐山には観光客も来ていると感じていました。キャンプなどに関してはリピーターがつくのはまだ先の話です。昨年のスロウのイベントのとき、色んな地域の車ナンバーをみて芽室町に活気があって嬉しかったです。もっと町の商工会や農家さん、子供達と一緒にイベントをしたりしても良かったのではないですか？お互いのためになったのではないのでしょうか。なんとか存続の道を検討して欲しいです。

●知人の薦めで今年 7 月に初めてキャンプ場にお邪魔しました。あんな素敵なキャンプ場閉鎖しないでください。札幌から行っても素晴らしい施設、風景に十勝が大好きになった矢先だっただけに非常に悲しいです。

ドックサイトは北海道一番です。来年の夏も行きたいです。あんな素敵なキャンプ場閉鎖したらダメです。芽室の宝ですよ。畑で採れた新鮮な野菜を販売していたり、芽室を PR したらいいと思います。自然豊かな素晴らしい環境を再開してください。強く願います。

●嵐山が閉鎖されるとの報道をみて、大変残念におもっています。毎年、子供たちのシーズン券を買って、土日、冬休みはほぼ毎日、ナイターも利用していました。それが突然なくなるなんてありません！3,4 年前くらいから、ドッグランやグランピングやファットバイク、バギーなどいろんなことに手を出し、

高く食べられないレストランなど、町民のための施設ではなくなりましたよね。100%町の出資で委託され運営している会社だと認識しています。町から資金が出ているからと、なんの危機感もなくあれやたいこれやりたいと理想のリゾートを作り上げようとしていたのかもしれませんが、町民が求めているのはそういう施設ではなく、町民に寄り添ったアットホームな嵐山です。リゾートは求めています。スキー場があって、大判焼きや肉まん、うどん、ラーメン、カレーがあれば十分です。オシャレで高い食べ物は必要ないです。今まで、町内の方がお店を出していたですからそのままだったら人件費もかからなかったですよ？嵐山は芽室町の財産です。無くなったら、芽室町には何にも魅力がなくなります。ホントに何もありませんよ。道の駅もないし、人来ませんよ。嵐山を町の運営に戻してはどうですか？芽室町全体で嵐山を再生させてください！！

●こんなにたくさんの嵐山スキー場についての存続希望のホットボイスが届いております。この現状を、どうかどうか、重く受け止めてください。お願いいたします。今年引っ越してきました。スキー場がある、キャンプ場がある、町民にとってもやさしい街だと聞いて来ました。なのに、こんなニュース。すごく、すごく落胆しております。似たようなご意見あると思いますが、それだけ、それだけこの結果に憤りを感じている町民の方が多いということです。

●SNS やホットボイスでも様々な意見が飛び交っていますが、スキー場に限って言えば、ピーク時よりも明らかに利用者が減っているわけですから、当然第2リフトはいらないと思いますし、第1リフトも片側動いていればいいと思います。ナイター営業も不要です。それで経費を圧縮できるのであれば、民間企業の考え方からすれば選択肢は他にありません。安すぎるリフト代も値上げしてよかったと思います。このご時世、燃料代や電気代だってバカになりませんか？

昔の、全部動いていて、ナイターも毎日やっているスキー場じゃないとダメだみたいな意見の皆さんは、それによって生まれていた赤字を自分たちの税金で補填されていた事実を受け入れたくないだけではないですか？おそらく運営会社の方たちではなく、別の形でスキー場に関わりがあった方たちだと思いますが、自分たちで芽室町の価値を下げていることを認めるべきではないでしょうか？

スキー場だけで新嵐山と芽室町が今後も発展していけるわけもないので、当然一緒にあるホテルやレストランも必要だと思いますし、キャンプなどの新しい取り組みには力を入れて、季節を問わず観光客が訪れたい施設としてやっていくべきです。今一度、活用計画に立ち返って進めてほしいです。自分ごと会議とか、そもそも利用母数が大して多くない町民の意見はそこまで大げさに取り入れなくてもいいのではないのでしょうか？観光立国日本として、今後まだまだ増えるであろうインバウンドの受け入れを町全体で強化するとか、その根幹に据えるべき施設こそが新嵐山だったのではないのでしょうか？

●嵐山山荘が一旦閉所になったことは良いことだと思います。

芽室の嵐山は、冬はスキー場・夏は公認のパークゴルフ場と食事ができるレストランがあれば良いと思います。宿泊施設は必要ないと思いますし、グランピング施設も必要ないと思います。子ども達の為にも早くスキー場だけは早く再開して下さい。

●嵐山スキー場 冬だけでも営業をスキー場は、冬は土日になると、駐車場も満車になるくらい人が来ていたと思います。トマムやサホロのようなリゾートを目指していたのかわかりませんが、ロッジ内も微妙でした。芽室のスキー場にグランピング・ファットバイク・バギーは不要だと思います。スキー・スノーボード・そり遊びができれば、十分です。雪の中で体を動かして、楽しめる場として冬だけでも営業再開して欲しいです。

●新嵐山荘を閉める事について、残念に思う町民の一人です。時々、二階のコロポックルに食事に行っていた者ですが、本州から来ていたお客様から、景色が素晴らしいし、食事も美味しいと言っていたのを耳

にしていたので、私も、そう思っていたので、嵐山荘は残してほしいと思います。町民の声も聞いて下さい。

●私は全国展開の観光関連企業に勤めており、仕事柄の趣味で全国各地によく旅行にも行きますが、その目線でも新嵐山スカイパークのような魅力的な空間が町にあることは、芽室町というブランドにとっても大きな財産であると感じています。私が感じている新嵐山スカイパークの魅力は大きく以下 4 点ですが、この 4 点を併せ持っている空間はそうそう無いと考えており、道外人目線でも観光業目線でも芽室町にとって貴重な資源だと感じています。

①山頂からのザ・北海道（十勝）なパッチワークの眺望

②牛の放牧や周辺の畑が間近な北海道らしい牧歌的な空間

③夏はキャンプ・BBQ、冬はウィンタースポーツと北海道らしいアウトドアアクティビティを堪能できる

④交通アクセスが良く民間イベントなども開催され、市民の憩いの場になっている。（イベント時やキャンプ利用で多くの家族連れが来ており、活気を感じる。）

●コロナが落ち着き、ドッグランがあると聞き行ってみました。大型犬と小型犬用が別々に作られていて、小型犬を飼っている私にとって安心して使用できる場所でした。また、キャンプ場は、犬を放したまま楽しめるよう囲いのある犬専用の区画を作っているのを初めて見て、すごくいい案だと関心していました。それに、キャンプ場で困るのがお風呂です。朝からお酒を飲みたいけど、車でお風呂に行かなきゃならないのがまんする！と言う方もいると思いますが、ここなら歩いてお風呂に行くことができます。缶ビールは持ってきているけど、風呂上がりに生ビールを一杯だけ飲みたいなあなんてことを思うことがある私ですが、施設内に生ビールを用意して頂けたら希望もかかないです。（南富良野のかなやま湖畔キャンプ場はお風呂に行く途中に生ビールやかき氷などを販売している場所があります。）

ただ、素晴らしい施設をアピールできていなかったのではないかと思います。YouTube やインスタなどを活用して素晴らしさを発信していたり、キャンプ好きや犬好きの YouTuber に来ていただいて、情報発信してもらうなどしなければ、今後も発展しないのではないかと思います。十勝ホロシリキャンプフィールドはスノーピーク、南富良野の道の駅、かなやま湖畔キャンプ場はモンベルと言ったアウトドアブランドが運営をしています。この様なアウトドアブランドを誘致するか、または、栃木県的那須町のようにペットに特化し、ワンコリゾートを作っていくなど、他があまりしていないところに光を当てて行くなどしなければ、収益を得ることは難しいだろうなあと思っています。あと、私はハイエースで車中泊しながら旅をすることがあるのですが、駐車場の一面を RV パークにしても良いのではないかと思います。北海道では見たことはないのですが、本州では RV パークに広い囲いがあり、車を止めたすぐ横でバーベキューをしていたり、椅子やテーブルを出して外の空気を感じることが出来るようになっている施設があります。キャンピングカーを持っている方は、私を含め中高齢者が多く、荷物を運ぶくらいなら、お金を出してもそのような施設があれば使いたいと思います。もし、北海道初なら、報道も大々的にしてもらえるとと思います。町民の憩いの場だけでは、運営は難しいと思いますので、町民以外の方をどれだけ集める事ができるかがカギとなると思います。

●車中泊が気軽に出来るスペースを。モンベル等アウトドアブランドとの提携、ショップ。宿泊施設の根本的見直し。豊頃町のように合宿に振るか？入浴施設の充実。スパ、サウナ。大きな風呂に入れるキャンプ場（晩成温泉）、道の駅（苫前）は、大きな集客力。町民が普段使い出来るよう、町民割引、町民限定回数券等。中札内村のフェーリエンドルフ内の温泉施設は宿泊客と近隣住民が通う施設になっている。レストランは 1 F 2 F の一本化。平日は普通のメニュー、土日やイベント時に限定メニューを出す位でよい。町内の飲食業に出店してもらいたい。

●スキー場を今後再開するとしてもナイター営業はしなくていいと思います。芽室スキー場のナイターはうす暗くて雪面が良く見えません。よく見ると電球切れていますよね。今はナイター営業しているスキー場では LED 照明がほとんどです。多分もうあの照明の電球は製造していないと思いますよ。電球変えようにも電球が無く、LED 照明に変えようにも買えるお金がない。ナイターの集客もこれから増えることは想像できないし、やらなくて良いと思います！

●スキー場今シーズンやらないのですね。残念です。いっそのことスキー場もうやらなくていいのではありませんか？年々雪が降らなくなっているし、降雪機で雪降らしてもお金がかかるのでは？燃料代も上がっているし。スキー客が増える要素は芽室には無いし。スキースクールだけがスキー場をやってくれと息巻いている状態だし。第2リフトなんてあんな古いの危ないよ。自分乗っている時に止まったらバックしたよ！運輸局知っているのかな？そもそも町が閉めますって言っちゃったしね。再開するのにかなりお金かかるのでは？

●嵐山休業は町民として残念です。関東にいる孫は、冬はスキー、夏は嵐山でお弁当持参での遊びをたのしみに毎年、冬・夏と来ていましたが休業を伝えると今年の冬は芽室に行っても何もする事ないと帰省を考える様です。芽室から嵐山を除くと何がいこいの場として残るのでしょうか？ただ経（判読できませんでした）事ばかりでなく改善すべき点があったのでは。町がかかわっているのに、スタッフにききがない様に思っていました。私も年に7～8回は嵐山に行っていました。四季をながめながらのランチは最高でした

●今年こそスキーをすべろうかと思ひ友人と楽しみにしていました。町民割引等、町民にやさしい新嵐山にしてほしい。車がないので、足の便をかくほして、午前、昼、夕方等、一日3回位、公民館からマイクロバスを出してほしい。みんなのいこいの場になるように、せつかく自然いっぱい場なので、利用しやすくしてほしい。

●芽室スキー場を古くから利用する人や議員は、スキー場は安心・安全で町民の皆様には喜ばれる健康づくりの場である、なんて言っていますがそんな考えの他の町のスキー場は何処にもありませんよ。1980年代のスキーブームの頃にも世間ではそんな考えの元スキーをしていません。健康の為にスキーをする人って高齢になってからだと思います。子供や中高生や20代から50代くらいの方は単純に楽しいから滑りに来ています。

芽室町は半世紀前くらいの考え方を崇拝して新しい考え方を受け入れない人や団体が凄く多いです。それに全く気付かずにいる。いい歳して世間知らずの田舎者でダサいですね。これから育つ子供達が可哀想でなりません。子育てには向かない地域と言う事を再確認しました。

●嵐山は町民の財産、町民が利用しやすい嵐山にする、町民の意見を聞いて、等色んな意見が出ていますね。町民相手に施設の利用案を考える事しか頭に無い人が多くて芽室町のレベルの低さに吐き気がします。今時そんな考えでやっている自治体何処にも無いよ。そんな事も知らない人達ばかりで利用案考えたって何も生まれて来ない。内輪の人間だけで盛り上がる気質が全面に出ており、傍から見ると間違った方向に進んでいるのにね。教えてあげても聞く耳持たないから迷走を続ける。遭難して皆玉碎しますよ。

●よく嵐山は町民の財産だと話に出ますが本当に町民の財産ですか？スキーをしない町民からすれば嵐山は財産だと思っていない。夏も利用しない町民からすれば財産でもありません。自分達の利権が絡んだ物を町の人達は財産だと言っているに過ぎないです。なのでその一部の人達だけが後生大事にし関わりが無い人達が来ると受け入れ無い体質が芽室町にはあります。財産っていうなら観光客から町民以外の利用客を呼ぼうという考え方を持たないとダメだと思います。

## 町民ワークショップの意見内容

※ワークショップで出た意見を抜粋

- 宿舎は町民利用が少ないので不要
- 露天風呂、サウナ、モール温泉施設があれば高齢者などで利用するのでは。
- レストランは冬期のみであればいい。スキー客のための営業をメインに。
- 宴会場は不要。
- 売店は町の特産を販売するなら合っても良い。
- 新たな機能として、土日で人が集まるイベントを行い、キッチンカーを呼び込む。
- キャンプ場は看板であるため必要だが、グランピングはお金がかかるので不要。
- 展望台は絶対あった方が良い。
- ドッグランは、犬がいる方にとっては重要な施設。
- パークゴルフは新嵐山だから、しに行くイメージがわからない。
- 新たな機能として、イベント用に、コミュニティスペース、フリースペースがあれば良い。
- スキー場、ソリコースは残してほしい。
- 冬のアクティビティは、スキーしない人もいるめあれば良いというイメージ。
- 宿舎は町外の山村留学で親が来た時にも使えるように合った方が良い。
- 温浴施設は、町民が友人を連れていくための施設であれば良い。
- レストランはスカイパーク内を散策する時、軽食やコーヒーを飲めたら良い。
- 宴会場は不要。
- 売店は町外の方向けに、設置されていて、スカイパーク内の動植物の写真がお土産であれば良い。
- 道の駅のような機能があったら良い。
- キャンプ場は初心者向けにあったら良いが、グランピングは不要。
- 展望台は、町内外の方に必要。リフレッシュのため、レジャーシートを広げられたら良い。
- ドッグランはキャンプ利用者にペット連れがいるため、ニーズがあると思う。
- 子どもが遊具で遊べたら良い
- 旧キャンプ場は、ソロキャンプ用に整備してはどうか。
- スキー場は子どもたちの教育の1つで必要。
- 冬のアクティビティは、お金をかけなくても子どもが遊べるような施設があれば良い。
- スノーシューを使って登れるようなコースがあると良い。
- 宿舎が必要な人はいるが、ターゲットの絞り込みが必要である。
- 温浴施設はいらないが、キャンプ場の人のための施設として、シャワー施設があれば良いのでは。
- レストランは町内の人、スキー利用客のためにも必要。
- 展望台にレストランがあれば良い
- キャンプ場はシンプルにして、グランピングはリピーターが少ないため、不要。
- ドッグランは近隣の町村からも人気である。
- パークゴルフ、ファットバイク、ともにやる人が少ないので、不要。
- 新しい機能として、車で乗り入れできるオートキャンプ場
- スキー場は子どもたちのために必要で、経営問わず継続してほしい。
- 新たな機能として、モーグル大会などを行ってはどうか。
- 宿舎は観光施設として、そぐわない。

- 温浴施設は、スキー利用客向けにも合った方が良い。
- レストランは、気軽に食事できる施設として必要。
- 宴会場は、10人規模の会場があれば十分。
- 売店はキャンプ利用客が食材を買えたら良い。地元野菜など。
- 新たな機能として、足湯があったら良い。
- 日帰りで、炊事遠足的なことをやれる場所を作ってくれれば良い。
- 展望台を整備してほしい
- ドッグランは、利用者の住み分けを行って継続していくのが良いのではないかな。
- 林道をマウンテンバイクのコースに整備したら良い。
- 新嵐山=スキー場のイメージがあり、町外の人でも無かったら困る。
- ファットバイクをレンタルして、コース整備をしてほしい。
- 新しい機能として、冬の星空を見ることが出来る場所があったら良いかも。
- 宿泊施設は夏季の総体の大会でも予約があったため、必要である。
- レストランの中に、ピザ窯を作って、芽室の農産物を使えば良いのでは。
- 新たな機能として、子ども向けの大型遊具があれば良い。
- 川沿いのキャンプ場を復活させてほしい
- 展望台から夜景が見ることが出来る施設に整備してほしい
- 新たな機能として、遠軽町の夏のスキー利用を参考にしたら良いのでは。
- 歩くスキーは多くの町民が利用しているため、継続してほしい。
- 宿舎は合宿所として合ったら良い、また民泊としての活用が良い。
- 温浴施設は、スキー利用客にも必要であり、町民の交流の場としてあったら良い。
- レストランは、スキー場の食堂のようなオーソドックスなものがあれば良い。町外のお客さんを連れて行きたい。
- 売店は町のPRが出来るようなモノがあったら良い。
- 新たな機能として、色々な実証実験の場として提供することが良いのではないかな。
- 旧オートキャンプ場を再整備してほしい
- 現在のキャンプ場は今後も維持して、グランピングは縮小していく方向が良い
- 展望台は、町外の人が北海道を満喫できる場所である。行くまでの道を整備してほしい。
- ドッグランは、町外の近隣市町村からも来やすく、ニーズがあると思う。ペットと一緒にお茶をできる施設も併設されていければ良い。
- マウンテンバイクのコースをもっと山の中に整備してほしい。
- スキー場は町内外で必要であり、ビギナーのために気軽に楽しめるコースとして存続してほしい。
- 公共の宿泊施設が少ないため、昭和レトロなホテルとして、残してほしい。
- 温泉、サウナ、滞在型の観光地になってほしい。
- 家族、友達、町外の人が利用でき、芽室の野菜が提供されるレストランがほしい。
- 宴会場は、まちなかに多人数が集まれるなら無くても良いのではないかな。
- 売店は、第2の愛菜屋になれば。
- 新嵐山を道の駅にしたい。
- キャンプ場の売り上げは厳しいが、時代の流れから必要であると思う。
- 展望台は、夏もリフト稼働してほしい。見に来た人が10分程度で帰ってしまうので、売店か飲食店が

欲しい。

- ドッグランは、継続して良いが、少しお金を落としてもらえるような施設が合ったら良い。
- パークゴルフは、道外の人向けに必要であると思う。
- 新しい機能として、夏の昆虫採集として開放することが良い。
- 子どもたちが冬に存分に遊べる施設として、継続してほしい。仕事帰りに習いに行ける場所である。
- 宿舎は、研修の用途として活用すると良い。現施設は維持・採算を考えると難しい。
- 温浴施設は、町内の温泉が無くなったので、町内の人も利用する。
- レストランは継続してほしいが、特徴あるメニューがないと難しい。夕食は豪華に、昼食は気軽に。
- 売店には町内の特産品を販売してほしい
- 新たな機能として、子ども向けの遊具を設置してほしい。
- キャンプ場は、オートキャンプが主流なので、改善が必要であると思う。
- 展望台は、観光の場として友人に見せたい。
- ドッグランは、継続し、利用客にお金を落とす仕組みができれば、知人にも進めやすい。
- 市街地にパークゴルフ場があるので現状維持。ファットバイク、バギーを活用した集客はどうか。
- 展望台の天空カフェを設置し、朝・昼・夜の景色がとても良い環境を活かしてほしい。
- 庶民的なスキー場として、ソリコースと併せて町民の遊び場として必要である。
- 歩くスキーは存続してほしい。
- 新しい機能として、イルミネーションで飾る。
- スノーモービルの体験を行う。

## めむろ☆未来ミーティングの意見内容

※現在、取りまとめ中のため、一部抜粋

- スキー場のコースを現コース数より少なくしても良いので、早期に再開してほしい
- 町民還元などの支援策を検討してもらいたい
- レストランのメニューで、シンプルなものを入れてほしい
- ランドデザインの策定経過について、町民にも情報を共有してほしい
- 新嵐山は歴史のある芽室町の財産であるため、後世につなぐ資源としてなくしてほしくない。

## 新嵐山自分ごと化会議の意見内容

- 機能ごとのコンセプトやターゲットを明確にしてからさらなる改善を行う（特に宿泊施設のコンセプトが不明確なので、全体のコンセプトに合わせていく）
- 地域や住民から定期的にコンセプトを聞く
- 多くの来客があるキャンプ・グランピング・スキーは稼げるのでターゲットを設定し、それ以外は、100人が100通りの使い方ができるようなコンセプトを考える
- 例えば「日本一寒いスキー場×サウナ」のような、今ある要素を掛け合わせたコンセプトを検討する。
- 新嵐山はB級グルメのような立ち位置を目指す（本格的にスキーをするなら富良野やサホロ、お風呂なら十勝川温泉がある。B級にはB級なりに狙う層があると思う）。
- 新嵐山独自でできること、新嵐山の強みを活かしたものを選択して税金を投入する（いくら観光に力を入れても、近隣の大型リゾート施設には勝てない。勝ち目があるなら税金投入しても良いと思うが、その点を疑問に感じている人もいると思う。）
- どこまで観光に力を入れるのか、ある程度の見通しを決める。
- 宿泊施設に関して、人間工学的な観点からの快適性を提供できる施設にして、ワーケーション等観光＋α視点でのアプローチで利用客を増やす。
- 宿泊施設(部屋＋お風呂)のデユース利用の開放と宣伝をする。
- テレワークや勉強などで利用できるよう、フリーWi-Fiを整備する。
- 近年道外からの遠征も多いことから、部活での活用について学校関係へのPRをする（レジャーを絡めた合宿も考えられる）。
- 芽室町の子どもたちが新嵐山に愛着を持っていけるようバス学習などを検討する。
- 市街地の学校では、雪を楽しむ、雪に触れるような学校行事がないので、授業で子どもが冬の新嵐山でアクティビティを楽しむ機会を作っていたり、学割などを検討する。
- 冬に遊べる子ども遊具設置（水遊び場の整備など）の検討。
- 試験的な期間を設定する。新規の体験授業(屋外炊飯／キャンプ研修)や町民・企業向けへのPR（新嵐山のリソース、芽室の普遍的な魅力発掘）。
- 足の確保策の検討（サービス券発行、バスの増便、利用者のタクシー助成など）。
- お年寄りや障がいのある方などのための手すり等の設置やバリアフリー化を行う。
- 利用促進のため、浴場の利用券の発行を検討。
- 町民を巻き込んで楽しみながら新嵐山を清掃できる行事など、町民が年に一度は参加できるようなイベントや学校行事を考える。
- 自然を活用しながら、サバイバル力を高めるキャンプ研修など、災害対応の体験授業を実施する。
- コロポックル伝説の可視化を検討する。

- 今の観光政策が他市町村とあまり変わらないので、再度見直しを行う。
- 夏のスキーゲレンデの活用について、放牧エリアの一部を開放しアクティビティの実施や、リフトの運行を検討する（現在は放牧のため立入禁止）。
- スキーのみならず、年に一度は色々な世代の人が集まれるような新嵐山の資源を最大限に活用できるイベント（祭りなど）の検討。
- 展望台の活用策の検討（360 度見渡すことができ、放牧した牛を見ることもできる景色の良さをもっと活かす。展望カフェの復活の検討。）
- 展望台までの登山道の整備を行う。（登山道が荒れている。また、登山者・自動車・畑に行く作業者が共通で使っている。機械の導線を踏まえて整備することが必要。）
- ドッグランだけではなく、自然全体で一緒に楽しめるような仕掛けをする。（フットパス、トレイルランニング、小川の活用等）
- 目標利用人数を設定する(損益分岐点)。
- 町民の力で経営状況をよくするためのストーリーを提示する。
- 人口減少や政治経済の観点から利用料の見直しをする。
- 宿舎と公園・キャンプ場の営業利益を増やす。部屋ごとの金額変更。
- カフェの設置（視界が良いなら子どもにも目が届く）。
- 小学生によるレストランメニュー開発や農家レストランを検討する。
- 例えば犬との宿泊やサイクリングなどできそうなことからまずやってみる。
- 町外を対象とし、特別な体験を売りに高単価で行う。またニーズの調査を行う。
- 宿泊施設のリニューアルを行う（老朽化施設の改修）。
- ゲレンデで牛を夏に放牧しているイメージを活用して乳製品×野菜のブランド化を検討する。
- 愛菜屋はもとより、地元の企業(明治乳業)と提携して収益性を考える。
- 人気のドッグランの有料化のほか、ペット宿泊可能な宿舎の設置や犬用食事メニュー、犬と一緒にのカフェ、トレーナー在駐の日の設置などを検討する（ドッグパーク構想）。
- グランピング強化・着替えや暖が取れたり、雨天でも利用できるようにする。（宿舎から宿泊機能をなくしてグランピングに特化し、現宿舎はグランピングを補完するための施設とするなど）
- 利用者を増やすためのアイデアを募集する。
- 多目的トイレの充実（男性トイレへのベビーベッド設置）
- 経費がかかってもスキー場のリフトの更新やメンテナンスを行う。
- 利用者数多いキャンプ場やドッグランをさらに改善する。
- 利用料の適正化や新規事業の実施について指定管理者との協議を行う。
- 新たなアウトドアが体験できるようなイベントの検討を行う。
- ネーミングライツの販売による収益を得ることを検討する。
- キャンプ利用客に新嵐山や町内の観光パンフレットを渡す。
- 天候や景色の移り変わりなど、新嵐山から見られる景色の美しさを配信する。
- SNS用 QR コードや動画を使って PR する。
- 食事がおいしいことをアピールする。
- キャンペーンの実施（年一回は新嵐山にお金を使おうキャンペーン、新嵐山×飲食店タイアップなど）。
- 今回のように偏らない老若男女のメンバーをランダムに集めた場を今後もつくり、新しいことを更新し続けられる新嵐山にしていく（もっと魅力ある新嵐山にしていきたいと思っている町民は多い）。

- ドッグランやグランピングなど、特徴ある機能の差別化した発信（他とは少し違うことをアピールする）。
- ハッシュタグなどで、「あなたの好きな新嵐山の一枚」を投稿してもらい、抽選でプレゼントがもらえるなどの仕掛けを作る。
- 行政が困っていることが伝わらないので、赤字になっていたとしても、四苦八苦しているところも含めてすべてさらけ出して発信する。
- 芽室町の将来的なビジョンをもとにした新嵐山スカイパークのあり方についての町民との対話の機会を設けると共に、現場事業者を含めた建設的な事業構想を作る場を設ける。
- 帯広市内を走る送迎バスに新嵐山を PR できるようなラッピングを施す。